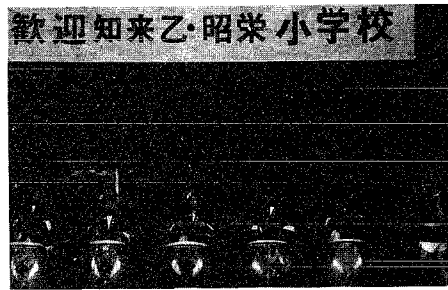


訪れたのは、知来乙小と昭栄小の何れも三年生以上全員の七人ずつと校長、教諭、教育委員会事務局職員の総勢十九名。

一行は、二十七日の夜月形町を出発し、青函トンネルを越えて正午に新潟駅へ到着、月潟に着いたのは午後一時半。その日地元小学生は大野郷の水泳大会のため交流が出来ず、一行からは休憩した後、教育長らの案内で、弥彦山やシーサイドライン、角田浜などを見学し、歓迎夕食会でもうやく地元児童の代表者と対面、田辺助役の歓迎のあいさつで始まった夕食会では疲れもとれたのか、子供たちの



歓迎知来乙・昭栄小学校

声も大きくなり和やかなうちに食事も終り、白根市の旅館へ。

二日目は、農環センターを会場に文化交流会などが行われました。教育長、皆川小学校長、六年生の石田宏美さんらによる歓迎のあいさつのおと、昭栄小学校の島田校長先生が「小さな学校ではあるが大きな交流会にして親善の輪が大きく広がることを期待している。」と返礼。

早速、五、六年生全員によるマ



▲まゆ玉づくりの様子

ーチングと月潟子供太鼓の演奏で歓迎、続いて行われた知来乙小の榊戸太鼓、昭栄小のハンドベルで荒城の月など四曲が演奏され、大きな拍手が送られていました。

その後、金子普次郎さんからは、月潟村にまつわる民話が紹介され、キツネに化かされた話では爆笑がおこり、会場が沸き上がる場面も、これで緊張感もほぐれリラックスクススライイスで歓迎昼食会。

午後からは、地元小学生代表十六人との体験学習会が行われ、特産のまゆ玉の色付けに挑戦いたしました。堀波夫さんらによる手ほどきを受けた後、ちようちん、宝船、鯛などに色が塗られると、本職もビックリするような出来のよ



▶おいしいね！

- いものもあつたり、中には色を付け過ぎて深海魚のような鯛ができたので、予定した時間をオーバーするなど、北海道の子供たちはもちろんのこと、地元の子供たちもめったに手にすることのない貴重な体験となったようです。
- その後、天然記念物の月潟の類産ナシを見学し、五十嵐義雄さん方で桃狩りを体験、もぎたての桃を全員が丸かじり。楽しいひとときも束の間、最後は名刺を交換し、友好と文通を約束して交流会の幕を閉じました。
- 一行は白根の風資料館を見学後、新潟市内の旅館へ。翌日も新潟市内を観光して船で帰られました。
- ◎契約件名  
新中学校一般備品(普通・特別教室棟分)
- (一)契約年月日  
平成四年六月八日  
(随意契約)
- (二)購入金額 五、三五六千円
- (三)購入業者 株日電友舎
- ◎契約件名  
新中学校一階解体工事
- (一)契約年月日  
平成四年七月十日
- (二)契約業者  
中之口村 株宮川組
- (三)契約金額 二九、七六七千円
- ◎契約件名  
月潟中学校第一期解体工事
- (一)契約年月日  
平成四年七月十日
- (二)契約業者  
中之口村 株宮川組
- (三)契約金額 二九、七六七千円
- ◎契約件名  
新中学校一階解体工事
- (一)契約年月日  
平成四年六月八日  
(随意契約)
- (二)購入金額 六、六四三千元
- (三)購入業者 株日電友舎

# 学校週五日制 九月から 第二土曜日を休業日に



学校週五日制は、学校、家庭及び地域社会の教育を見直し、子供の望ましい人間形成を目指すものです。

これから二十一世紀に生きる子供たちには、新たな文化を創造するため、豊かな個性や創造性を培うことが求められています。子供たちがこれからの社会の変化に、自ら対応し自ら考え判断し、行動できる、たくましく生きる力を育てることが求められています。

今日子供の状況をみると、無気力や引きこもりがちな「指示待ち子」が増えてきているのではないかと、また、人間関係が希薄になったり自然体験が不足したりして豊かな心が育っていないのではないかと、また、子供の本来の力を引き出すためには、知識や技能だけでなく、自ら学ぶ意欲や、自分で考え判断して行動できる新しい学力を育てることが大切です。

学校週五日制の導入は、このような課題を解決するために、学校、家庭及び地域社会が一体となって、それぞれの教育機能を発揮しながら、子供が自分で考え、主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるようにすることを目指しています。



このような子供の人間形成を図るために、今、学校、家庭及び地域社会における子供の生活が変わることが求められています。

家庭においては、子供が親との生活を通して生き方を学んだり、生活する知恵を身に付けたりすることが大切です。

**第二土曜日を含めて、休日には家庭のふれあいを大切に！**

地域社会においては、異年齢の子供同士による遊び、自然とのふれあい、スポーツや文化活動、奉仕活動など、豊かな体験の場や機会の充実を図ることが大切です。

地域全体で子供を見守り、育てていきましよう！

学校では、いままでも続いた六日間学ぶ内容を、五日間で学習するわけですが、子供に負担をかけることとならないよう、日課表の見直しや学校行事等の精選を図り、学力向上に一層努め、余暇の善用事故防止に十分な指導をします。

学校週五日制は、子供だけの話ではありません。先生やお母さんはもちろん、お父さん、お隣りのお姉さん、近所のおじさん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃん全員にかかわることです。

子供たちの未来、大人の未来、よりよい社会に私たちが暮らせるよう、それぞれの立場からみんなでこの第二土曜日休業を成功させましょう。



## 入札結果